

## 新京成電鉄の上本郷駅夜間無人化中止等に関する申し入れ

松戸市長 本郷谷健次 様

2012年7月11日

日本共産党松戸市議団

同前千葉県議会議員 みわ由美

日頃から市民福祉の向上にご尽力いただき敬意を表します。

さて、新京成電鉄はこの間、「駅業務の効率化」と称して、次々と駅の夜間無人化を進めてきており、松戸市内では、「松戸新田駅」と「稔台駅」、船橋市内の「前原駅」「習志野駅」「滝不動駅」と、今年6月から「高根木戸駅」の6駅が無人化されました。

2007年の無人化に際しては、本市議会に「無人化計画の中止・撤回を求める」陳情が出され、国に対しても「無人化計画の見直しを求める要請」を行うよう意見書が審議されてきた経過があります。松戸新田駅・稔台駅ともに住民の要望でバリアフリー化され、バリアフリー化のために稔台駅は改札口が2つに造設されました。また、監視駅である松戸駅でのモニターは、1つのモニターで2つの駅を映していたものを、1つ1つの駅を1台ずつのモニターで映すようになりました。

6月初め日本共産党は、新京成電鉄との懇談を行いました。まだ時期は決まっていないものの、上本郷駅は無人化の対象駅になっていること、また無人化のための機材が導入されていることを確認いたしました。この間無人化された稔台駅で、夜間22時以降ホームにいた4人の若者に駅の巡回警備員が殴られたり、車内で暴行事件を起こした犯人が無人駅で逃走をはかったり、けがをした人の乗客の対応の問題があったことなど、無人化に伴うトラブルについて新京成電鉄も認めました。

市内では松戸新田・稔台そして上本郷駅と連続3つの駅が無人化されれば、乗客および沿線住民の安全確保に重大な支障をきたします。

無人化の理由として新京成電鉄は「乗客が減り、会社の経営が大変だからご理解を」ということですが、新京成電鉄の今年3月期当期純利益は、去年の3月期より2億円以上増えています。駅の無人化は、鉄道会社の最大の使命である「安全な輸送」を損なう懸念があること、また、駅のバリアフリー化に補助金を出している沿線自治体として、船橋市は駅の無人化中止を、市長が新京成の社長に直接会って申し入れています。

本市も上本郷駅のバリアフリー化に当たっては、高齢者や障害者が駅を利用しやすいように多機能トイレやエレベーターなどの設備費補助金を出しています。松戸市長におかれましても新京成電鉄に対して、沿線住民や利用者への説明会の開催の働きかけはもちろんのこと、無人化中止を強く要請して頂きますよう下記の点について申し入れます。

### 記

1. 今後実施されようとしている上本郷駅の無人化中止を要請すること。
2. これまで既に無人化を実施した松戸新田、稔台駅の無人化撤回を要請すること。
3. 沿線住民や利用者への説明会の開催を働きかけること。
4. 松戸市が新京成電鉄に要請している内容を市広報やホームページに掲載し、無人化反対の市民世論形成に努めること。沿線町会や自治会掲示板にも掲示できるよう働きかけること。

以上